

エチオピア経済月報(2022年2月)

主な出来事

- アフリカ輸出入銀行はエチオピアに対して貿易や民間投資への支援を目的とした10億ドル以上の信用供与を行う覚書に調印。
- 中央統計局は、1月のインフレ率が34.5%(前期比0.6%ポイント減)であったと発表。
- エチオピアの商業銀行は外貨不足により信用状決済取引を停止。
- エチオピア政府とケニア政府は両国間のエネルギー相互接続プロジェクトを加速させることに合意。
- エチオピア航空は墜落事故により3年間運転停止していたボーイング737MAXの運行を再開。

1. 経済全般・財政・金融

- 今年のエチオピア経済は、戦争終結のための交渉と国民対話の開始によって、加速すると格付け信用格付機関Fitch Analystが予測した。2022年度の経済成長率は5.2%と予測している。(5日、The Reporter)
- エチオピア国立銀行(当地中銀)とアフリカ輸出入銀行(Afreximbank)は、エチオピアに対して貿易や民間投資への支援を目的とした10億ドル超の信用供与を行う覚書に調印した。(8日、Daily Monitor)
- 首相は、Mamo Mihretu氏をエチオピア政府系ファンド「Ethiopia Investment Holdings」の初代CEOに任命した。同ファンドの資本金は1,000億ブル(約20億米ドル)。(12日、Fortune)
- エチオピア国立銀行は、アフリカ輸出入銀行の主導するアフリカ諸国との通貨スワップ参加に合意した。(12日、Reporter)
- 1月のインフレ率は12月の35.1%から僅かながら減少を示し、34.5%であったと中央統計局が明らかにした。食料品のインフレ率は前月比1.7%ポイント減少したものの、非食品の同期間のインフレ率は0.7%増加した。(13日、Capital)
- 歳入省は直近7ヶ月で1,967億ブル(38億米ドル)(前年同期比16.2%増)を徴収し、計画の92.4%を達成した。(14日、Daily Monitor)
- エチオピアの商業銀行は、外貨不足により信用状決済を履行できなくなっている。この外貨不足は、エチオピア国立銀行が民間企業やNGOの送金のための為替保持率を50%から20%に制限し、またエチオピア国立銀行に海外為替の70%を引き渡し、銀行では10%しか保持できなくなったことが主因。(19日、Reporter)
- 政府は外国からの融資の減少という圧力の中、増大する財政赤字を補うために、国内資金への依存を続けている。今年上半期における中央銀行の国庫短期証券(T-bills)の売却によって、債務残高は110%増の2,530億ブル(50億米)ドルとなった。Cepheus Capital社は財政赤字がGDPの4%に達し、2005年以来の最高値になると予想している。(26日、Fortune)

2. 貿易・投資・ビジネス

- エチオテレコム社が半期で280億ブル(5.4億米ドル)の収益を達成した。(1日、Ethiopian Herald)
- エチオピア国立銀行は、紛争とパンデミックを理由に商業銀行からの融資延長を求めるホテルなどの接客業の要請を拒否した。接客業は景気刺激策の一環として金利5%で合計6400万米ドルの融資を受けているが、パンデミックの影響で返済が滞っている。(5日、Reporter)
- サファリコム・エチオピア社は、商用サービス開始の準備の中で、テクニカルコールを初めて成功させたと発表した。(6日、Monitor)
- エチオピア・ボトルウォーター・ソフトドリンク製造業協会(EBWSDMIA)によると、原材料不足と価

- 格上昇により、約 20 のボトルウォーター製造業者が生産を停止している。(6 日、Capital)
- 工業団地開発公社 (IPDC) は、工業団地からの輸出により今年度上半期に 1 億 400 万米ドルを得たと発表した。また、今年度輸入代替品の生産額は前年同期を 6000 万米ドル (33%) 上回り、収益面でも 2000 万米ドルを上回った。(12 日、Ethiopian Herald)
 - エチオピアコーヒー・紅茶局は、今年度 7 ヶ月間でコーヒー・紅茶・スパイスの輸出により約 6.6 億米ドルを確保し、輸出量及び収入は計画を上回っていると発表した。(17 日、Ethiopian Herald)
 - 物価の高騰に加え、外貨不足により輸入が不可能になっていることにより、GDP の 5 分の 1 を占め、年平均 11% の成長を見せる建設業が打撃を受けている。建築資材の価格は 2 倍に急騰している。(19 日、Fortune・12 日、Reporter)
 - 国内で最も収益性の高い国営企業の一つであったエチオピア鉱物・バイオ燃料公社は、環境汚染の疑いで世論の反発を受け鉱山省から輸出許可を取り消されたこともあり、今年度上半期に 4130 万ブル (80 万米ドル) の損失を計上した。(26 日、Reporter)
3. エネルギー
- エチオピアとケニアは 400MW を 0.07 米ドル/kWh の固定価格でケニアが購入するという 10 年前の契約を改定し、両国間のエネルギー相互接続プロジェクトを加速させることに合意した。(12 日、Reporter)
 - エチオピア電力公社 (EEP) は発電と運用に関するメガプロジェクトが計画通りに進捗しており、エネルギー輸出は 4600 万米ドルを計上し、全国的な停電の発生も報告されていないことを発表した。(20 日、Capital)
 - 現在建設中のアエシヤ風力発電所は 40MW の発電に成功し、建設完了に近づいている。建設完了後は 120MW の発電が可能になる予定。(27 日、Ethiopian Herald)
4. 工業・運輸
- エチオピア航空は墜落事故により 3 年間運転停止していたボーイング 737MAX の運行を再開させた。(1 日、Daily Monitor)
 - アディスアベバ市議会は 10 年前に採択された産業クラスター開発戦略を達成すべく、中堅中小製造業振興のために、1 億米ドル程度を投じるアカキ・カリティーにおける産業集積地区の設立を急いでいる。(5 日、Fortune)
 - 英国の鉱山会社 NewAge 社は、パンデミックを不可抗力としてライセンスの延長を要求していたが、鉱山省が同社のライセンス延長の要求を拒否したため、エチオピアから撤退した。(5 日、Reporter)
 - エチオピア航空はバレンタイン用に二週間でエチオピア・ケニア・エクアドル・コロンビア・マイアミからヨーロッパへ 86 便を運行し 1.1 億本超の花を輸送したと発表した。(11 日、Daily Monitor)
 - エチオピア初の冷蔵施設などを備えた高度な設備を要する物流拠点を設立するために、アディスアベバの南西セベタ市の郊外のインドテで、当局から雇用された中国の鉄道コンサルティング会社 CRTEC が調査を開始した(12 日、Reporter)
 - アダネチアディスアベバ市長は融資凍結のために遅れている 9000 万米ドル規模の道路プロジェクトの資金調達のために、中国の輸出入銀行に融資の実行を要請した。請負業社の中国通信建設 (CCCC) は融資が実行されないため建設を中断している。(12 日、Reporter)
 - エチオピア鉄道公社 (ERC) はベルベラ港、ラム港、アッサブ港を結ぶ新鉄道網の建設可能性を判断するための調査を開始した。(12 日、Reporter)
 - 運輸・物流省は、免許の不正利用を防止するために、運転免許と車両登録の手続きを統合させた、生体認証を用いた交通管理システムの導入を検討している。(19 日、Fortune)

- 鉱山省は英国の鉱山会社Kefi Goldに対しウル・カピにおける金採掘操業の開始を6ヶ月間延長することを認めた。(19日、Reporter)
 - エチオピア航空は、延べ約 4 億回分の COVID-19 ワクチンを輸送したと発表した。(25 日、Daily Monitor)
 - エチオ・ジブチ鉄道公社はアワシユ油槽所をアディスアベバ-ジブチ鉄道に接続する工事が資金不足のため完成していないため、約 100 隻のタンカーが利用できていない状況であると発表した。(27 日、Capital)
5. 農業
- 国家植物安全性諮問委員会は、遺伝子組み換えジャガイモとBtGtコットンの受け入れを検討している。(19日、Reporter)
6. 各国動向
- ドイツは、アフリカの角の深刻な干ばつによる被害を軽減するため、国連食糧農業機関(FAO)を通じて2000万ユーロの支援を提供すると発表した。(18日、Daily Monitor)
 - 世界銀行は、エチオピアのソマリ州の緊急干ばつ対応に6430万米ドルを割り当てたことを発表した。(18日、Daily Monitor)
 - 外務省は、ドイツ政府が、教育、農業、人道支援における様々な二国間支援とともに、エチオピアに新たに8060万ユーロの無償資金協力を約束したことを発表した。(23日、Ethiopian Herald)
 - メンシェン・ファー・メンシェン(MfM)財団は、2022年会計年度においてエチオピアの人的および総合的な農村開発プロジェクトに1500万ユーロ以上を承認したと明らかにした。(24日、Ethiopian Herald)
7. その他
- オックスフォード大学の長期プロジェクト「Young Lives」の最新調査によると、南部諸民族州(SNNPR)のコミュニティに住む10家族のうち4家族以上が、高インフレによって悪化した深刻な旱魃によって2021年に食糧不足に陥ったことが明らかになった。(6日、Capital)
 - 教育省は、選抜した優秀な生徒のために、科学、技術、数学、人文科学の教育の拠点として、各州と特別市に50の特別な学校を建設することを決定した。(22日、Reporter)
 - AfCFTA事務局は、エチオピア人2名(アルケベ氏、タフェラ氏)を貿易・工業開発諮問委員会メンバーに任命した。(26日、Reporter)